



S.P.V つうしん

第35号
平成24年12月
●スペースパークボランティアの会●



発行／スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 TEL 024-936-0201 FAX 024-936-0089

..... 科学グループ特集!!

| アイデア次第! “ものづくり”の魅力は健在!

科学グループの活動は、科学館やイベントにて工作コーナーを設け、皆さんと一緒に科学を楽しむことがメインになっています。

ここで用意した工作は、誰でもチャレンジできるよう難易度は控えめですが、完成してから面白い反応を見せてくれるものばかり!

そして、科学的な仕組みを考える上で絶好の教材となる内容となっています。

工作なんぞ楽しめるのは子ども時代だけ…といった風潮があるとしたら寂しいのですが、私たち科学グループが接する機会が多いのは、やはり小学生を中心とした好奇心旺盛な世代。

共に過ごす時間は、大人の感覚からしたらわずか5~15分程度の暇つぶし程度でしょうが、彼らにとっては小さな冒険のようです。

「山折り・谷折り」さえ初めてのお子さんにとっては、様々な道具や作業のデビュー戦になるかもしれません。



刃物が怖い方だっているでしょうし、地味に根気のいる作業が求められることもあるのです。

そこで大人がお手伝いしてあげる事は簡単なのですが、自分の力だけでやり抜こうとする子どもたちの姿



勢に心強さを感じます。

自分の手で組み立てたからこそ、壊れた時も自分で直せますし、アイデア次第でいくらでも工夫できるはず。

既成品が溢れ、自分の手で何かを組み立てるという機会がほとんど無くなってしまった現代生活においても、“ものづくり”的魅力は健在です。

2012年は、山中教授のiPS細胞研究に基づくノーベル賞受賞や相次ぐ天文現象で、科学分野もオリンピックに負けない盛り上がりを見せました。

そして、自らの五感を用い積極的に接していくことでより深い楽しみを見出だせるのも、またスポーツと同じです。

科学工作へのチャレンジを機に、お子さんを中心に、ご家族で積極的に科学と接して頂けると幸いです。

(山田 善貴)



科学グループ5箇条

1. できるだけ自分の手で成し遂げること!
2. アイデア勝負！いくらでも工夫すること！
3. 親が科学アレルギーにならないこと！
4. 好奇心を持って、とことん楽しむこと！
5. だけど、ケガには気をつけて♥



スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。
詳しくはお問い合わせください。
郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先：郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL 024-936-0201

「私と科学ボランティア」



科学ボランティアの活動を通じて、未来を担う子どもたちに“ものづくり”的楽しさを伝えようと考えています。子どもたちに身近な材料を使って簡単に作れる“ものづくり”なのですが、作り方を分かりやすく説明するのは思っていたより難しいときもあり、創意工夫を發揮しなければと思うこともあります。

分かりにくい説明を聞きながら、子どもたちは真剣な表情で“ものづくり”にチャレンジし、完成したときに「うわ～！すごい！」って感動し、「これは大切に取って置きます」の一言を聞くと、やりがいを感じます。「作るのは難しいけれど、ものづくりってこんなに楽しいんだ」ということを子どもたちに体感してもらいたいです。

(熊谷 晃)



私がボランティアを始めたのは気分転換の為です。

科学的で簡単に作ることができ、子どもに解りやすく説明するのはなかなか難しいことです
が、仲間と各月の研修で話し合い、新しい情報を得て、楽しんでいます。
また、子ども達から育って行くエネルギーに元気をもらっています。

駅前の街中を眺めて、変化に驚いたりと、脳には刺激になって、とても良い気分転換方法だと思っています。

(加茂 けい子)



私は、科学ボランティアでの活動は2年半程です。他の会員さんのように年間、何百時間という活動はできませんが、色々な人々と接する機会があるので、非常に魅力的であります。

特に私のように、地方出身者で東北地方に知人が少ない者にとって、科学ボランティアは、会員の皆様や接する全ての人々との“交流の場”となっております。

(龍 修)



2010年6月に科学ボランティアに加入してから、早二年が経ち、公民館での出張活動や他館ボランティアとの交流などをできました。科学館に勤務をしていた時から、すでに科学ボランティアに入ることは決まっていました(笑)。仕事上なかなかカウンターでの活動はできませんが、大切な空間です☆

(伊藤 優)



科学ボランティアを始めて6年、活動の日を楽しんでいます。きっかけが、スペースパークに初めて行った時に展示ゾーンのスペクルさんに憧れてなので、科学ボランティアとして子どもたちにいつか自分もスペースパークのボランティアさんになりたいとか、科学を好きになってもらうきっかけになれればいいなと思います。

(大渕 匡代)



S.P.Vの一員に加えていただいて5年。初めは、子どもたちと触れ合う時間を恐る恐る過ごしていたように思います。会員の方々のアドバイスやプログラムを一つ一つ学んで、今は一緒に楽しめるようになりました。

私の願い…。いつの日か、宇宙飛行士や科学者になった人が、「子どもの頃、郡山の科学館で学んだことが、私の原点です」とインタビューに答える姿を見ることです。そんなきっかけを作ることで、一人助になれたたら嬉しいです。

(三澤 トシ子)



まず子どもと触れ合う機会が非常に増えました。私はどちらかというと大人しいほうでしたが、人と話をする機会も増えました。S.P.V以外にも新たな事にチャレンジをするきっかけにもなりました。そして、出会いと別れの数も増えました。これからも頑張っていこうと思います。

(木田 宏明)



数年前に地縁なし、知人なし、一銭なしで身ひとつ郡山にやってきました。そして普通に仕事・生活していくとなかなか世界が広がらない…環境が勝手に変わってくれるわけでもなく。何かやろう。ネット世界はお断り。市内で門戸のある活動グループをいくつか回りたり着いたのがここ。

正直、はじめは必ずしも楽しいものではなかったけれど…しばらく経つうちに当時の館担当者の好きに変えちゃって(企画しちゃって)いいよの一言、役員選出と面白い(次第に気の置けない)人たちとの出会い、館外活動の活発化。これはいいと楽しくあれこれしている(失敗している)うちにいつの間にやら年長組。

多くの人とふれあいたくさんの実践をさせていただき、言い表せないほどのプラスの影響をいただきました。そしていつも十分に時間を割けられるわけではありませんが、人に支えられている、この感覚 자체も社会で得にくいすごい収穫かもしれません。

(熊本 隆之)



～科学グループ活動日録～

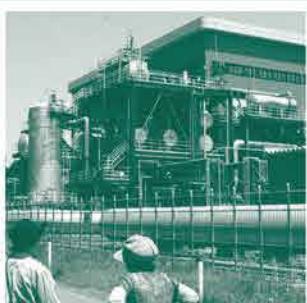
☆出張活動

車に材料を載せ、小学校や公民館での地域活動にお邪魔させて頂き、大勢で賑やかに工作や実験を行います。また、ニコニコ子ども館や商店街でのお祭りなどにも出店し、よりたくさんの方々に科学を楽しんで頂きたく活動しております。



☆研修ツアー

科学グループ内で研修旅行を企画し、最先端の科学を学ぶと共にメンバー間の親睦を図っています。ミュージアムで知識や接遇を学ぶだけでなく、発電所など科学が実際に生かされている現地に赴き、肌で感じるのも大きな勉強になります。



☆科学館「わくわくカウンター」

21階展示ゾーン、歓声が響き渡るトリブルスピンの裏手に、私たちの活動拠点となるワークショップカウンターがあります。ここでは、土日祝日を中心に行なう工作コーナーが設けられ、誰でも気軽に科学工作にチャレンジすることができます。二ヶ月ごとにメニューも新しくなっており、何度も遊びに来てくださいね。

カウンターにはパズルや科学に関する本も多数並んでいますので、思う存分楽しんでいってください。



☆勉強会

メンバー自身が講師となり、定期的に科学グループ内で勉強会を行なっています。

時事ネタから身のまわりの環境に関する事柄までテーマは非常に幅広く、また、人々が好きでボランティアになった会員も多いため毎度盛況です。



大人になってからの「学び」～生涯学習としてのボランティア～

ボランティアの目的は市民との交流や草の根的な啓発活動、これらの補助だけではありません。生涯学習など我々自身の学びも大きな目的のひとつです。

S.P.V科学グループでは来館者・市民向けの科学工作教室だけでなく、我々自身の学習とスキルアップを目的とした自主研修会も開いております。勉強会としてはメンバーのスキルを活かし、これまでに食の安全(添加物、農薬)や感染症(新型インフルエンザ、ノロウイルス)、水環境(水道水や猪苗代湖)、ノーベル賞、イグノーベル賞をテーマにした講演会に毎回大人向けの折り紙教室を組み合わせて計5回、ツアーとしてムシテックや大安場古墳、アクアマリン、柳津地熱発電所、布引風力発電所など計9回開催してきました。これらにS.P.V全体企画として主に郡山の歴史などの勉強会や他館へのツアー(積極的に県外へも)を含めると、定期的に2か月に1回のペースで何らかの学びの場があることになります。

学生時代の「勉強」は知識の詰め込みや理解したつもりの苦痛の連続だったかもしれません、大人になってからの「学び」は単に知的好奇心が満たされるだけでなく、これまでの知識が物事の道理の判断(正しいものとして使えるものは何か)に結びつく「知

恵」に昇華され、それはさらに誰にも奪われることのない自身の宝物になっていくはずです。自分の価値を高める、アイデンティティを確立すると言っても過言ではないかもしれません。学生には学生の、社会人には仕事に関する勉強が必要であるように、大人には大人の学びがあるはずです。昔のように紙とペンを使うもよし、電子機器で融通するもよし。学生時代と違い、実務的であれば自らテーマを設定=高い動機づけを得ることができますし、教養的であれば試験の点数を気にせず興味をとことん追及することができます。積もり積もって周囲に良い影響を与えられるでしょう。そういう気概の知人を多くもつことも大切かもしれません。個人の成長に限界なし、今からでもはじめてみましょう!

(熊本 隆之)



今号のきら星★さん

科学グループ 梅津 朋子さん



私は、今年の4月にS.P.Vに入会した「ボランティア1年生」です。活動日数がまだ少ないのですが、活動日は控え室に向かう時点でドキドキ…ですが、一歩足を踏み入れると皆さん気さくに話しかけてくださるので、いつもホッと一安心します。

仕事以外で目上の方とお話しする機会が少ないので、私にとっては控え室での会話も貴重です。S.P.Vにはたくさんのボランティアさんが所属しているので、活動回数を重ねる度に色々な方との会話も楽しめたらなと思っています。この場をお借りして、皆さんよろしくお願いします!

さて、私が科学ボランティアに入ったきっかけは、知識の幅を広げてくれる科学工作をこの先も続けたい&接客もしたいという思いからでした。科学工作は、作り方を教えるだけでなく、科学の知識も必要となります。そのため理数系が大の苦手な私は、原理を調べたり、子どもにも分かる言葉でまとめたりなどの事前準備が欠かせませんでした。多くの方々のお力添えもあり、科学工作に携わって約3年経ちましたが、始めた当初と比べたら科学への抵抗感がなくなり、知識も少しついてきたように思います。科学工作は作る側だけでなく、教える側にも学びがあるので、ボランティア活動を通して、もっともっと知識をつけていければと思います。

イベント情報



Event Information

ボランティアまつり

会場: 22階展望ロビー 参加費: 無料

●3/16(土)~17(日)
10:00~17:00



毎年恒例の“スペースパークボランティアまつり”が開催されます。

大活躍中の各ボランティアグループが今年繰り広げた様々な活動の集大成を皆さんにお贈ります。昔懐かし紙芝居の実演など楽しい企画がいっぱいです!みなさまのお越しをお待ちしております。

※写真は昨年の様子

天ボラの 知識の泉 ●暦

34

今年、映画化され話題となった『天地明察』で渋川春海は平安時代から800年余りも経て誤差が生じた宣明暦では、日食、月食予報が外れるようになり、改暦の命を受ける。

はじめは、授時暦(1281年~1644年まで使われた中国暦)を採用しようとするが、延宝三年(1675)の日食予報を外し、改暦が中断する。その後何年にもわたり、太陽や月、星の観測により中国との里差(経度差)が原因と気づき改良を加え大和暦を編纂し、これが、貞享元年(1684)に改暦が認められ『貞享暦』と呼ばれた。映画の中では和算家の関孝和や囲碁を介した人物とのやり取りが面白く描かれているが、春海も和算に秀でており、経度を理論的に求めていたようです。

緯度は、北極星の高度を測ることで(北半球の場合)ほぼ正確に判りますが、経度は太

陽や恒星が観測地点を通過した時刻とグリニッジ天文台を通過した時刻の時間差から求められます。

西洋では大航海時代に海難事故防止のため、正確な経度の測定が必要でしたが、それには正確な時計が必要と判り、1761年に年間誤差30秒のクロノメータが開発されると、誤差1海里(1852m)まで測れました。

春海の時代は経度の実測が困難でありましたが、貞享暦は70年間で25回日食を予報し、その中で見えなかつたものが1回だけで、しかも注釈として『見え難い』と記したものと記載されなかつた日食は長さが1分ほどのもの1回だけであり、いかに優秀かがわかります。(参考:富山市科学博物館HP)

(渡辺 喜作)

S.P.V 活動情報 (~3月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

案内サービス “昔懐かし”紙芝居 (約15分)

◇随時実演 ☆展望ロビー(北)

科学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝 10:00~15:30 ☆21階展示ゾーン入館者対象

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内 (約20分)

◇11:00~、15:00~、17:00~ ☆展望ロビー(東)

天文 天体観望会

◇3/23(土) 19:00~20:00 ☆郡山駅西口駅前広場

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第36号3月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報を
HPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは…… 郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集 あとがき

(音)鍋の美味しい季節ですね。食べ過ぎにはご注意を!
(国)正月を越す毎に年齢は多くなるが、体力の方は反対に衰えてゆく。生活に注意して、この衰えを小さくしましょう。
(山)科学館で活動するようになってから空を見上げる機会が増えました。冬の星空、凄いですよ☆
(星)たくさんの天文現象にワクワクドキドキした1年でした☆宇宙は神秘的ですね!

